

別紙

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

ホクト株式会社 広島きのこセンター 温室効果ガス削減実施状況報告書

(2) 事業所の所在地

広島県三原市大和町下徳良679-27

(3) 業種

野菜作農業（きのこ類の栽培を含む）

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成27（2015）年度を基準年度とし、平成28（2016）年度から平成32（2020）年度までの5年間とする。

※ 省エネ法第15条関係中長期計画書の計画期間と同じ。

3 計画の基本的な方向

1、基本的な考え方

当社は環境の保全を経営の重要課題と位置付け、環境に配慮した事業活動に努め、環境への負荷の低減を推進することにより、持続可能な社会作りに貢献します。

特に、環境問題の中でも、重要視されている地球温暖化防止対策については自らの事業活動のみならず、当社の製品を使用する消費者のことも考慮し、温室効果ガスの排出抑制に努めていきます。

2、方針

- ・省エネルギー、省資源の推進（省エネ事業）
- ・環境にやさしい製品の提供
- ・廃棄物の排出抑制、リサイクルの推進
- ・社員への環境教育の徹底

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度 平成27年度	直近年度 平成28年度
二酸化炭素	12097.07	12107.57

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
メタン		
一酸化二窒素		

その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF ₆ NF ₃)		
---	--	--

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成27年度)	削減目標		目標年度 (平成32年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	12097.07	0.8%	▲97.07	12000.0
非エネルギー起源CO ₂				
メタン				
一酸化二窒素				
その他 温室効果ガス				
温室効果ガス 実排出量総計				
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方	エリンギ、ぶなしめじ共に、生産量が多くなり、又、重油使用量も増加しています。電気使用量については省エネルギータイプの冷凍機入れ替えを行い節電に繋がっています。(省エネ事業は平成30年度で終了)			

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成27年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成32年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂							

非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	5217.5			▲0.9%	5000		
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	1日生産量でのA重油使用量は現状維持	<ul style="list-style-type: none"> ・ボイラーの適正管理 ・廃熱の有効利用 ・不使用時の電源OFF徹底
2	電気使用量の削減	電気の使用量を削減 2%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房温度の適正管理 ・機器不使用時の電源OFF徹底 ・休憩時間の消灯の徹底 ・照明器具のLED化 ・新型冷凍機への順次交換 (省エネ事業平成30年まで)
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物排出量の削減	・コピー用紙使用量を現状維持	<ul style="list-style-type: none"> ・両面コピー，裏面利用等 ・分別収集及び資源化の徹底

2	リサイクル率の向上	・現状維持	・純水器排水一部を資材洗浄に再利用
3	その他	・現状維持	・従業員送迎バスの運行

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

(2) 実施状況の点検・評価

- ・温室効果ガス削減計画の取り組み状況の把握、点検及び問題点の検討を行い、定期的に評価、見直しを行い継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表